

令和5年12月18日

貝塚市議会議長 殿

研修会参加報告書

報告者 樽谷 庄道

参加者 樽谷 庄道

「防災と議員の役割」

本研修では、地震や集中豪雨等による災害に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学びました。講義に加え、演習では双方向型研修を実施し、現在の防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えました。

開催日：令和5年11月20日（月）13:00～17:00

会場：全国市町村国際文化研究所

大規模地震災害の 予測と対応策

講師：東京大学 名誉教授 平田 直氏

平時の防災

危機を予測する力、危機を予防する力、危機に対応する力について詳しく学びました。

今年に関東大震災から100年の節目の年。教訓を活かす。

町内会自治会活動への参加が低下、消防団員数はマイナスで推移。

自治体職員は25年で16.5%減。

正常化の偏見(正常化バイアス)自分は大丈夫だ。

都合が悪い情報を無視したり、過小評価してしまう人の特性。

組織は非日常が苦手。

重要な地域防災政策とは、住宅の耐震化、要配慮者支援、防災教育。

など

開催日：令和5年11月21日（火）9:00～10:10

事例紹介 災害時における議会 の対応と取組

熊本県人吉市議会 議員 徳川 禎郁氏

2018年熊本豪雨災害における徳川議員の講話

10:25～15:00

災害時、復旧・復興期の議員の役割

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋 一氏

事業継続（BC）の目的

組織が災害で被害を受けても。

組織関係者の人命を守る。

重要業務を(なるべく)中断しない。

重要業務が中断した場合は出来るだけ早急に復旧させること。

BCP を定める意義は損失を最小化するため

その損失とは？

感想

災害時の議会・議員の使命は、住民の命と尊厳を守ること、余力があれば財産も。

これは議会・議員だけでは出来ない。

市の当局と協働し、国、府、防災関係機関、国民に働きかけられるよう平時から準備をしておかなければならないと感じた。

災害後の応急対策期における議会・議員は“邪魔をしない”を超えた

① 活動ルール、②活動の道具、③積極的な情報提供、④積極的な地域活動であり、議会 BCP で効果的な対応をしなければならない。

以上。

